

平成29年第1回帯広市公営企業経営審議会 議事録要旨

日 時 : 平成29年2月22日(水) 午前10時

場 所 : 帯広市役所10階第5B会議室

議題(1) 平成29年度予算概要について

委員

昨年は思ってもいない大きな台風に見舞われましたが、浸水に関しては市民も不安があると思います。

今回の台風で浸水の被害があったのかお伺いしたい。

事務局

主に東のバラト地区と呼ばれているところですが、帯広川と札内川にかこまれた地区で、床下浸水、床上浸水の被害がありました。

通常污水管に地下水は入らないのですが、河川水位が上がったことにより地下水位が上昇し、それが污水管に入り污水管からあふれ出たという状況です。

来年度この地区の雨水管を整備していきたいと考えております。

委員

下水道管の耐用年数が40～50年と聞いていますが今交換している最中ですか。

事務局

耐用年数50年がきたらすべての管を更新するというわけではなく、テレビカメラで調査をして傷んでいる管を取り換えていくという考えです。

もう1度掘り直して取り換える方法と、管の内面に被覆を作って補修していく方法と2つあり、今は内面を被覆する工法をしております。

委員

地震が震度7以上起きたら上下水道部としてどういう体制になるのか、また道路が使えない場合はどうなるのかお伺いしたい。

事務局

帯広市で断水が起きた場合には避難場所と病院等を優先度に従い、いち早く応急給水を行うように考えております。

また道路が使えない場合には、自衛隊等に要請していくような形になります。

給水車等は日本水道協会と災害協定を結んでおり、北海道がダメであれば本州から応援に来るという体制になっています。

委員

ある程度長期的に継続的にする事業についてはこの審議会でご説明を受けたり、審議したりするような機会というのはあるのでしょうか。

事務局

予算は上下水道ビジョンに基づいて作成されています。

現在のビジョンは平成31年までの計画となっています。

次回は平成32年スタートですので平成30年か31年には、ビジョンをどう考えていくのか、将来的なことをお話させていただく場面があるかと考えています。

議題（2）バックアップ料金制度について

委員

この制度に該当する12事業者のうち未契約となっている事業者の方には今後の見通しはあるのでしょうか。

事務局

この制度設立当初から制度のご説明をさせていただいておりますが、なかなかご理解いただけない状況です。

正直に申し上げますと厳しいと認識しているところです。